



御案内

第29回環境工学総合シンポジウム2019 (2019 Symposium on Environmental Engineering (2019SEE))

沖縄, 万国津梁館, 2019年6月25日~28日

併催

International Workshop on Environmental Engineering 2019 (IWEE2019)



開催趣旨

本シンポジウムは、日本機械学会環境工学部門を構成する騒音・振動改善技術、資源循環・廃棄物処理技術、大気・水環境保全技術、環境保全型エネルギー技術などの先端技術を駆使することにより、自然環境と調和する安心・安全な快適環境を実現するための情報提供、および、専門家による最先端の研究・技術開発成果の発表と討論を通してサステイナブル社会へのブレークスルーのきっかけを見出しingいただくことが目的です。また、併催する環境工学国際ワークショップ (IWEE2019)にも参加できますので、国際的な情報交換や研究者・技術者のネットワーク形成の促進を図ることが出来ます。各種表彰制度により、環境工学の発展を加速する機会ともなっております。開催は、2000年に開催された第26回主要国首脳会議 (九州・沖縄サミット) の会場である万国津梁館において行います。世界各国における多様な環境問題についての取り組み、研究開発についての情報発信や討論をするだけでなく、沖縄の風光明媚な自然や伝統文化に囲まれた中、サステイナブル社会の醸成ならびに環境工学の未来について考える絶好の機会となることでしょう。皆様の積極的なご参加をお待ちいたしております。

「事例発表」も歓迎いたしますが、商品宣伝にならないようご注意ください。以下に事例発表の例を示します。

- 速報 (十分な考察ができておらず結論がでていないが、速報することで研究や技術の発展に寄与するもの)
- 技術紹介 (技術改善や操業改善の工夫や改良を報告することで、実用的機械工学の発展に寄与するもの)
- 資料 (学問的・技術的に価値があり、発表により、会員や機械工学の発展に寄与するもの)

なお、詳細については、環境工学総合シンポジウム (2019SEE) ウェブサイトをご参照願います。

<http://www.jsme.or.jp/env/see/2019/>

シンポジウム会場

万国津梁館 (沖縄県名護市喜瀬1792番地) は名護市街地から車で20分の場所にあります。2000年に開催されたG8沖縄サミットの会場として知られ、各国首脳が絶賛した格調



空から見た万国津梁館とブセナ半島



万国津梁館全景 (IWEE/SEE会場)
<http://www.shinryokan.com/index.jsp>

高い会場や風景の中での発表は、皆様の記憶に残る学会となることでしょう。特に、バンケット会場にも利用するサミットホールからの夕日はすばらしく、中庭からのエメラルドグリーンに煌めく海の眺望と共に沖縄の自然を堪能して頂けます。会場から徒歩数分の場所には、美しいブセナビーチと海中展望台やグラス底ボート体験が出来る施設もあり、学会の合間に楽しんで頂ければと思います。



万国津梁館 サミットホール

重要な日程

- 2018年12月3日 講演申込み・参加登録 受付開始
- 2019年2月1日 講演申込み〆切
- 2019年3月1日 著者への発表受理通知
- 2019年4月15日 早期参加登録〆切
- 2019年4月15日 講演原稿提出〆切
- 2019年6月15日 参加登録〆切

トピック

1. 騒音・振動評価・改善技術

- 1.1 騒音・振動の実験・解析技術
- 1.2 騒音・振動の改善技術
- 1.3 音色・音質の評価と改善
- 1.4 低周波音・超低周波音の評価・改善技術
＜オーガナイザー＞

森下達哉（東海大），朝倉 巧（東京理科大），青木俊之（九大），有光哲彦（中央大），飯田明由（豊橋技科大），飯田雅宣（鉄道総研），江波戸明彦（東芝），川島 豪（神奈川工科大），雉本信哉（九大），北村敏也（山梨大），栗田 健（JR東日本），高野 靖（京大），田部洋祐（日立），戸井武司（中央大），土肥哲也（小林理研），濱川洋充（大分大），林 秀千人（長崎大），日置輝夫（千代田化工），丸田芳幸（中央大），御法川 学（法政大），宗像瑞恵（熊本大），森村浩明（東工大），山極伊知郎（神戸製鋼），山崎 徹（神奈川大），山田彰二（三菱電機），渡部真徳（日立）

2. 資源循環・廃棄物処理技術分野

- 2.1 循環型廃棄物処理技術
- 2.2 再資源化・リサイクル
- 2.3 焼却・溶融技術
- 2.4 安定化・無害化処理技術
- 2.5 廃棄物発電・バイオマス発電，熱利用技術
- 2.6 環境マネジメント・手法

【OS1】IoT・AI技術の廃棄物処理分野への国際的展開と課題

【OS2】持続可能な技術・システムに関する取組と今後の展開

【OS3】バイオマス資源の利活用と今後の展望

【OS4】固形バイオエネルギーの技術展開と標準化（1）

【OS5】固形バイオエネルギーの技術展開と標準化（2）

【OS6】廃棄物処理・バイオマス利用に関する技術全般（2019SEE）

※注記 【OS1】～【OS5】は環境工学国際ワークショップ(IWEE2019)のため講演発表は「英語」のみとなります。【OS6】は環境工学シンポジウム(2019SEE)のオーガナイズドセッションにつき、講演発表は「日本語」または「英語」となります。

＜オーガナイザー＞

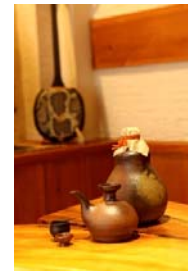
太田智久（タクマ），胡 浩（早大），井田民男（近畿大），伊藤一芳（住友重機械工業），小倉 舞（日立造船），小野義広（新日鉄住金エンジニアリング），小野田弘士（早大），片山智之（エムイーアイ），上林史朗（クボタ），川本克也（岡山大），小林 潤（工学院大），佐藤吉信（月島環境エンジニアリング），鈴木康夫（JFEエンジニアリング），秩父薫雅（神鋼環境ソリューション），傳田知広（JFEエンジニアリング），富田康弘（三井E&Sエンジニアリング），豊武秀文（月島環境エンジニアリング），藤木隆史（新明和工業），松山智哉（三機工業），森田拓之（川崎重工業），山本充利（荏原環境プラント），行本正雄（中部大），吉川邦夫（東工大）

3. 大気・水環境保全技術

- 3.1 大気環境保全・改善技術
- 3.2 水環境保全・改善技術



バンケットでは沖縄の伝統舞踊が上演されます。



ラフター(左)と泡盛と三線(右)



IWEEの会場近くには、海中展望塔，グラス底ボート，ブセナビーチがあります。

<http://www.busena-marinepark.com/english/index.html>
<https://www.oki-islandguide.com/attractions/busena-beach-the-busena-terrace>

3.3 大気・水環境評価技術

3.4 大気・水環境数値シミュレーション

<オーガナイザー>

神原信志 (岐阜大), 江原由泰 (都市大), 石野洋二郎 (名工大), 上原聡司 (東北大), 浦島邦子 (文科省科学技術・学術政策研究所), 遠藤 久 (月島機械), 大久保雅章 (阪府大), 河尻耕太郎 (産総研), 北川一栄 (下水道事業団), 小林信介 (岐阜大), 佐藤岳彦 (東北大), 木下進一 (阪府大), 長岡裕 (都市大), 宮原高志 (静岡大), 山口尚夫 (クボタ環境サービス), 義家亮 (名大), 吉田篤正 (阪府大), 吉田恵一郎 (阪工大)

4. 環境保全型エネルギー技術分野

4.1 省エネルギー

4.2 新エネルギー

4.3 エネルギー有効利用

4.4 蓄熱・電力貯蔵技術

4.5 エネルギー技術分野における環境関連技術

4.6 環境数値シミュレーション

<オーガナイザー>

田中勝之 (日大), 坂東 茂 (電中研), 秋澤 淳 (農工大), 伊藤 辰 (東京都市サービス), 内山聖士 (三機工業), 小原伸哉 (北見工大), 亀谷茂樹 (東京海洋大), 粥川洋平 (産総研), 君島真仁 (芝浦工大), 小嶋満夫 (東京海洋大), 近藤 明 (阪大), 齋藤 潔 (早大), 佐々木正信 (東京電力EP), 佐藤春樹 (慶大), 関口圭輔 (NTTファシリティーズ), 鄭宗秀 (早大), 党超鋌 (東大), 豊島正樹 (三菱電機), 西村伸也 (阪市大), 松田憲兒 (冷凍空調工業会), 宮崎隆彦 (九大), 山口誠一 (早大), ロジオノフ ミハイル (東芝), 涌井徹也 (阪府大)

基調講演(IWEE)

Tsumoru Shintake (Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University (OIST), Japan) (Open Forum)

Yong-chan Kim (Korea University, Korea)

Ali bin Selamat (Malaysia-Japan International Institute of Technology (MJIT), Malaysia)

招待講演(IWEE/SEE)

Jiannan Yang (Hitachi Europe Ltd., Great Britain)

Liang Yu (Shanghai Jiao Tong University, China)

Jintawat Chaichanawong (Thai-Nichi Institute of Technology, Thailand)

Moo Been Chang (National Central University, Taiwan)

Chaobin Dang (The University of Tokyo, Japan)

James S. Cotton (McMaster University, Canada)

Nito A. Debacher (Federal University of Santa Catarina, Brasil)

DiNicola (Marche Polytechnic University, Italy)

Heckt (Technical University Berlin, Germany)

Yukihiro Higashi (Kyushu University, Japan)

Jongsoo JEONG (Waseda University, Japan)

Myonhong Lee (Korea Maritime & Ocean University, Korea)

Jie Li (Dalian University of Technology, China)

Bidyut Baran Saha (Kyushu University, Japan)

Keping Yan (Hangzhou University, China)

実行委員会委員

佐藤 岳彦 (委員長) (東北大学)

高野 靖 (副委員長) (京都大学)

上原 聡司 (幹事) (東北大学)

山里 将朗 (琉球大学)

渡部 眞徳 (日立製作所)

濱川 洋充 (大分大学)

小倉 舞 (日立造船)

片山 智之 (エムイーアイ)

浦島 邦子 (科学技術・学術政策研究所)

関口 圭輔 (NTTファシリティーズ)

涌井 徹也 (大阪府立大学)



OISTキャンパス (見学会)



オリオンビール工場 (見学会)



オリオンハッピーパークでのウェルカムレセプションと参加登録 (見学会)



沖縄式古民家での昼食 (エクスカーション) <http://ufuya.com/en/>



沖縄美ら海水族館 (エクスカーション) <https://churaumi.okinawa/en/haisai/>

IWEE/SEEスケジュール

現時点のスケジュールは以下の通りですが、変更となる場合がございます。

スケジュール(仮)

時間	6月25日	6月26日	6月27日	6月28日
9:00		開会式 基調講演 口頭発表	基調講演 口頭発表	基調講演(未定) 授賞式 閉会式
12:00		昼食	昼食	
13:00	見学会/ウェルカムレセプション	口頭発表	ポスター発表	エクスカージョン
			オーガナイズドセッション/基調講演(未定)	
18:00			バンケット	
19:00				

講演発表資格

日本機械学会会員に限ります。
会員資格を有しない方においては、先ず入会手続きのうえ、入会仮登録番号を入手下さい。

日本機械学会「入会のご案内」ホームページ
(<http://www.jsme.or.jp/japanese/contents/03/01.html>)

発表申込期限

2019年2月1日(金)

会員番号が必要となります。
この段階で入会手続きをしていない場合(入会仮登録番号で可)は、発表をお断りしますのでご注意ください。

講演原稿提出締切日

2019年4月15日(月)

入会を完了し、会員番号を入手下さい。
会費支払いまでの確認ができない場合(入会仮登録番号は不可)は、原稿は受理できませんのでご注意ください。

講演原稿枚数

A4判用紙2~4ページ(PDFオンライン投稿)

講演発表時間

口頭発表 発表時間10分、質疑応答5分(合計15分)
ポスター発表 ショートプレゼンテーションおよびポスター発表
発表用のパソコンまたは講演用の資料が入ったUSBメモリーをご持参願います。ポスターはA0縦型となりますのでご準備願います。

発表申込方法

発表申込は2018年12月3日(月)より開始となります。
詳しくは、環境工学総合シンポジウムウェブサイト
(<http://www.jsme.or.jp/env/see/2019/>)を参照願います。
<注意事項>

- * 発表者は全員、早期事前登録をお願いいたします。早期事前登録がなされない場合は、発表を取り消しますのでご注意ください。
- * 発表は原則として、ご自身のパソコンで行いますのでご持参下さい。パソコンが必要な場合は、講演資料が入ったUSBメモリーをご持参願



美しい珊瑚礁と色鮮やかな魚



お守りとして家の屋根に飾られた
沖縄の伝統的なシーサーの像



沖縄の伝統舞踊「エイサー」



沖縄本島の地図

います。参加登録の際に、要パソコンの項目にチェックを入れて下さい。

受賞

「研究奨励表彰」： 口頭発表において優秀な講演を行った2019年4月1日時点で35歳以下の正員および学生会員に授与します。

「日本機械学会若手優秀講演フェロー賞」： 口頭発表において発表内容が日本機械学会学術誌（日本機械学会論文集，**Mechanical Engineering Journal**）に論文として投稿するレベルであり，優秀な講演を行った2019年4月1日時点で26歳未満の会員に授与します。授賞式は2019年6月28日（金）です。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

出版

シンポジウム参加者には，講演論文集が配布されます。

講演論文原稿の電子ファイルを，6月25日（火）以降に，シンポジウムのウェブサイトよりダウンロードいただけます。

参加登録

登録費

	早期事前登録費 2018年12月3日 ～2019年4月15日まで	事前登録費 2019年4月16日 ～6月15日まで	当日登録費
一般会員	40,000円	50,000円	60,000円
学生会員	20,000円	25,000円	30,000円
一般非会員	50,000円	62,000円	75,000円
学生非会員	25,000円	31,000円	38,000円
同伴者	15,000円	18,000円	23,000円

<注意事項>

- * 早期事前登録ならびに事前登録は，期日までに支払いを終えて下さい。なお，登録費のご返金は出来ませんのでご了承願います。
- * 登録された方は，見学会参加，昼食参加（弁当），バンケット参加，エクスカージョン参加，シャトルバス利用ができますが，人数把握のため登録時に参加希望項目を選択して下さい。
- * 協賛学会員は，会員価格で参加いただけます。
- * 同伴者の方々の登録につきましても，登録者の個人ページより登録いただけます。
- * 同伴者で登録された方も，見学会，バンケット，エクスカージョンへの参加，シャトルバス利用ができます。小学生以下のお子様につきましては，無料で見学会，バンケット，エクスカージョンへの参加，シャトルバス利用ができます。登録の際，同伴者およびお子様のお名前をご記入願います。中学生および高校生のお子様につきましては，お一人5,000円の追加料金でご参加できます。昼食につきましては別途弁当を1箱1500円で販売しますので，登録時に，ご希望の日付（26日，27日）およびそれぞれの希望数量をお申し込み下さい。

移動手段（ご参考）

無料のバス送迎をご用意してありますのでご利用下さい。

(1) 那覇空港→名護市街地

6月25日（火）夕方に，那覇空港から名護市街地への移動用のバスを準備しております。

また，見学会参加者は，6月25日（火）お昼に那覇空港から出発し，見学会・ウェルカムレセプション終了後に名護市街地に到着いたします。いずれのバスも，学会指定ホテルに停車します。

(2) 名護市街地⇄会場

6月26日（水）は朝と夕方，6月27日（木）は朝とバンケット終了後，6月



古宇利島と古宇利大橋

<https://www.kouri-oceantower.com/kouri-island/>



今帰仁城址

<http://nakijinjoseki.jp/>



沖縄北部「やんばるの森」のマングローブの中でのカヌー

<https://www.yanbaru-club.com/>



大石林山の巨大ガジュマル

<http://www.sekirinzan.com/>



やんばる国立公園の大石林山

<http://www.sekirinzan.com/>

28日（金）は朝と学会終了後に、送迎バスを準備いたします。また、学会指定ホテルと名護市街地（未定）に停車します。

（3）会場→那覇空港

6月28日（金）学会終了後に、会場から那覇空港へ移動用のバスを準備しております。

（4）会場→名護市街地

エクスカーション用のバスをご利用下さい。

（5）その他の交通手段

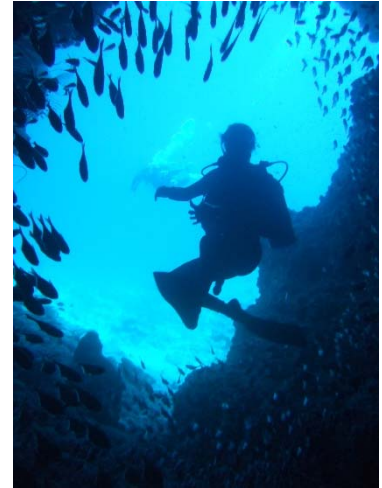
- ・那覇空港から名護市まで、公共高速道路バスで約1時間45分かかります。
- ・名護市内から会場へは、路線バスが1時間に1～2本ありますが、バス停から会場までは徒歩で約10分かかります。以下のウェブサイトをご参照願います。

沖縄バス株式会社：<http://okinawabus.com/wp/>

バスマップ沖縄：<http://www.kotsu-okinawa.org/index.html>

タクシーをご利用の場合は、会場から名護市街地まで約20分かかります。

- ・レンタカーでお越しの場合は、会場駐車場に駐車願います。



宿泊施設（ご参考）

以下のホテルは、参加登録用ウェブサイトよりご予約いただけます。シャトルバスも以下のホテルに停まります。

名護市内

1. ホテルゆがふいん沖縄：10000円より

2. ホテルルートイン名護：7000円より

IWEE会場近辺

3. 沖縄サンコーストホテル（IWEE会場から約2km、車で5分）：14000円より

4. ザ・ブセナテラス（IWEE会場（万国津梁館）隣り）：36000円より

※ザ・ブセナテラス前へシャトルバスが停まるのは6月25日のみですので、ご注意ください。

上記の宿泊料はシングルルームの料金です。数人で宿泊する場合はこの金額より安くなりますので、予約時に確認して下さい。

<注意事項>

他にも名護市内、会場近隣にホテルはありますが、バス送迎（無料）は、上記1～3のホテルになります。

付随行事

（1）見学会

6月25日（火）午後に那覇空港出発し、持続可能な環境設計がされ世界的評価を受けているOIST（沖縄科学技術大学院大学）とオリオンビール工場を見学します。

オリオンビール工場では、オリオンビールを飲みながらのウェルカムレセプションを開催するとともに、参加登録も行います。

OIST: <https://www.oist.jp/>, Orion beer factory: <https://www.orionbeer.co.jp/en/>

（2）バンケット

6月27日（木）に会場にて開催いたします。

格調高いサミットホールと中庭から望む景色や夕日、沖縄の伝統芸能も楽しんで頂く予定です。

（3）エクスカーション

6月28日（金）学会終了後に開催いたします。

会場から各ホテルに到着後、名護の大家（古民家レストラン）にて昼食、美ら海水族館とバックヤードツアーを行います。

<注意事項>

* いずれのイベントにおいても、参加登録時に、参加希望のイベントの項目にチェックを入れ、参加申込みをして下さい。

* バックヤードツアーは、参加人数（100名）限定となりますので、申込み受付順とさせていただきます。

* 参加申込みをしない場合は、参加できないこともありますので予めご了承下さい。

企業展示・広告

サミットホールへは最大11件分の展示ブース（机幅180cm×奥行き60cm、バックパネル高さ210cm）をご用意いたします。又、講演論文集内にも広告用スペースをご用意いたします。詳細につきましては事務局へご連絡願います。

会場設備

会場では無料のWi-Fiもご利用いただけます。会場内は禁煙ですが、会場の外には喫煙エリアもございます。学会参加者の皆様は、6月26日と27日にカフェテラスが無料でご利用いただけます。

名護周辺の観光スポット

沖縄は自然や文化が豊かで、周辺には多くの観光名所があります。例えば、名護市民ビーチ、古宇利島や古宇利大橋、今帰仁城趾、やんばるの森、沖縄フルーツランドなどの他、ダイビングも盛んに行われています。是非、沖縄の自然や文化も楽しんで頂ければと思います。

オプションツアー

オプションツアーも予定しております。詳細はウェブサイトをご参照願います。

スポンサー

IWEE2019/2019SEEは、沖縄観光コンベンションビューローより一部支援を受けています。

協賛

エネルギー・資源学会、化学工学会、環境科学会、環境資源工学会、空気調和・衛生工学会、高分子学会、産業環境管理協会、資源・素材学会、自動車技術会、地盤工学会、静電気学会、全国都市清掃会議、大気環境学会、電子情報通信学会、土木学会、日本エネルギー学会、日本オゾン協会、日本音響学会、日本化学会、日本環境衛生施設工業会、日本環境衛生センター、日本空気清浄協会、日本建築学会、日本産業機械工業会、日本産業廃棄物処理振興センター、日本水道協会、日本セラミックス協会、日本騒音制御工学会、日本太陽エネルギー学会、日本鉄鋼協会、日本土壌肥料学会、日本燃焼学会、日本ヒートアイランド学会、日本分析化学会、日本水環境学会、日本リスク研究学会、日本冷凍空調学会、廃棄物・3R研究財団、廃棄物資源循環学会、粉体工学会、スマートサウンドデザインソサエティ (SSDS) (予定を含む)

連絡先

不明な点などありましたら下記までご連絡願います。

IWEE2019/2019SEE事務局：

Eメール：env-symp2019_admin@jsme.or.jp

住所：〒160-0016 東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館 日本機械学会環境工学部門

<https://www.jsme.or.jp/env/index.shtml>